



KUMAMOTO

The Weekly Bulletin

## GREEN Rotary-Club

Kumamoto green rotary club district 2720 rotary international

CREATE  
LASTING  
IMPACT2026～  
2027年度  
テーマ

R.I. 会長テーマ 「持続可能なインパクトを生み出そう」

R.I. 会長 オンラインカ・ハキーム・ババロラ

R.I. 2720 地区テーマ 「ロータリーが〇〇をつなぐ」

R.I. 2720 地区 ガバナー 延岡 研一

熊本 G.R.C. テーマ 「つなぎ、楽しみ、行動、奉仕しよう。」 熊本グリーン RC 会長 荒木 一之

■例会日：毎週月曜日 18:30～19:30  
 ■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル  
 TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：荒木一之 ■幹事：山口悦史 ■会報担当：山口 翼  
 ■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内  
 TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー  
第2720地区

熊本グリーンロータリークラブ週報

## 第1606回 [2026～2027 第2回]

令和 8 年 7 月 13 日

## 【例 会】

1. 開会・点鐘 18:30

2. 食事と交歓

・「我等の生業」

来訪者紹介 ・岩永 史朗 氏

友情の握手

会長スピーチ 荒木 一之 (会長)

今日は先週土曜日に流通情報会館で開催されましたクラブ活性化ワークショップの事をお話ししたいと思います。



グリーンからの参加者は私と田中慎二会員、田代会員、山下佳介がバナー補佐になります。今回のテーマは会員がやめないクラブづくりで「会員のコップの水は、どんな時に増え、どんな時に減っているのか」です。このコップの水とは会員が会員の心理状態を表し、コップの水があふれると退会の気持ちに

なると言う意味合いだそうです。そこでコップの水が増える原因、また水が溢れないようにするにはどうするか？というテーマでプログラムが組まれ、最初は隣の人と黙って30秒目を見つめるということで隣の田中慎二さんと黙って目を見つめあいました。その後目を見て会話するのとは比べてどちらがより長く感じたか？を聞かれました。

そこではより目を見てコミュニケーションを取ると良いと言う提案でした。その後移動して分科会がありました。熊本第三グループは山下ガバナー補佐が司会者となられテーブルブレインストーミングがあり、シナリオ演習があり、コップの水が減る場合はどういう時か？会長、先輩会員の言葉でコップの水位がどう変わるか？些細なことで水がたまっていく場合はどうゆう時か？など事例を上げながら代表者の発表が行われました。最後に全体会場で各ガバナー補佐のグループの総括がありガバナーの総評で終わりましたが今回はいろいろな意見しあう機会が多かったのでかなり密度が濃く有意義なワークショップでした。山下ガバナー補佐もお疲れさまでした。

グリーンロータリー・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及びません。  
 というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

卓 話 予 定

7/27 「I.M.についてのクラブ・フォーラム」  
 8/3 「会員増強クラブ・フォーラム」  
 8/10 定款第7条第1節に基づき例会取り止め  
 8/17 新入会員卓話 埴田翔輝 会員

[熊本グリーンRC ホームページアドレス] <http://www.kg-rc.com/>

## 幹事報告 山口 悦史 (幹事)

### ①「玉名ロータリークラブ創立 60 周年記念式典」のご案内

《日 時》 令和 8 年 10 月 31 日(土)  
登録受付 13:00 ~  
式典: 14:00 ~ 15:20  
講演: 15:50 ~ 17:00  
ランニングアドバイザー 三津家 貴也 氏  
祝宴: 17:30 ~ 20:00  
《場 所》 司ロイヤルホテル  
登録料: 12,000 円  
登録締切: 8 月 31 日(月)迄

### ②ガバナーノミニー・デグジネート (作守順子ガバナーノミニーの次の方)候補者推薦について。 2029 ~ 2030 年ガバナー候補者がクラブよりある場合は、2026 年 9 月 14 日(月)必着でクラブよりご推薦下さい。

## ■例会変更

### ○熊本中央RC: 7 月 24 日(金)の例会を「定款に基づき」(取止め)

※サイン受付は致しません。

### ○熊本東南RC: 7 月 15 日(水)の例会を「新年度家族会」(変更)

→変更後の場所と日時: 同日 18:30 ~ (於: ホテルキャッスル)

### ○熊本東南RC: 7 月 22 日(水)の例会を「祝日が含まれる週」(取止め)

### ○熊本東南RC: 8 月 12 日(水)の例会を「祝日が含まれる週」(取止め)

## 出席報告 埴田 翔輝 会員(クラブ管理運営委員)

|                             | 会 員 総 数  | 23名 | 出 席 率  |
|-----------------------------|----------|-----|--------|
| 7月13日                       | 出席免除会員数  | 0名  | 50.00% |
|                             | 計算上会員数   | 23名 |        |
|                             | 出席会員数    | 11名 |        |
| 6月15日                       | 前回の出席会員数 | 15名 | 72.73% |
|                             | メイクアップ数  | 1名  |        |
|                             | 修正出席会員数  | 16名 |        |
| メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先       |          |     |        |
| ・ 6／7 熊本菊南 RC 創立40周年式典 松村会員 |          |     |        |

## スマイル

嘉悦雅文 クラブ管理運営委員会(スマイル担当)

### ●荒木一之 君、山口悦史 君

「本日は荒木会長のスペイン旅行紀です。よろしくお願い致します。」

### ●宮部康弘 君

「荒木会長のスペイン旅行紀、楽しみにしていました。よろしくお願い致します。」

### ●河島一夫 君

「今日は江上会員の友人で私もひょんな事から友人となった岩永さんを招待しました。本を出版されたので、皆様に買って頂きたいとスマイルします。」



岩永史朗さんご挨拶

### ●田中純司 君

「荒木会長の「スペイン旅行紀」楽しみにしていました。よろしくお願い致します。ご来訪者の岩永様ようこそいらっしゃいました。歓迎のスマイルです。」

### ●嘉悦雅文 君

「今日は荒木会長のスペイン旅行紀、楽しみにしております。また、岩永史朗様ご来訪を心より歓迎致します。」

### 3. プログラム

●卓話者：荒木 一之 会長 ●演 題：「スペイン旅行紀」



スペイン土産のいちじくのチョコレート

## 荒木一之会長「スペイン旅行紀」



今回のスペイン旅行は私が熊本美術館友の会に入会しておりましてその会からの案内で「海外美術館巡りの旅」の企画で行ってまいりました。動機はスペインに行ったことがない事とバルセロナでガウディ建築を見たかったからです。

熊本よりバスで福岡空港に移動、チェックイン後キャセイパシフィック航空にて香港に行きそこでトランジェットがあり、6時間ほど待ち、その後バルセロナ行き飛行機に乗り込み13時間ほどして現地到着、朝9時頃になります。

到着後ホテルへチェックイン後2時間後に出発でしたのですが私が香港空港で飲んだ水が悪かったのかおなかを壊し起き上がれなくて出発に遅刻、一緒に旅行の方に迷惑をおかけしてしまいました。なんとそれから2週間、熊本に帰って病院に行くまでずっとおなかをこわした状態でした。

皆さんスペインの場所をご存じだと思いますが特徴はあまり知られていないと思いますので簡単にご説明します。ヨーロッパの南西部に位置し人口は4900万、ヨーロッパで5番目の経済規模です。輸出品は自動車、機械、医薬品、農産物、食品、でオリーブオイルは世界最大の生産、輸出国でバスにて移動中も見渡す限りのオリーブの木が並んでいました。ワイン、豚肉（イベリコ豚）も有名です。衣料品ではZARAが世界中に展開しています。何でも熱くなる国民性でサッカーも国民の人気があります。また各地に遺跡や美術館があり文化の町で世界遺産が50近くあります。

まず向かったのはカタルーニャ美術館でロマネスク時代（11世紀から12世紀）の美術品が多数所蔵されています。ロマネスク美術は文字を読めない人にキリスト教の教えを伝える為に絵の聖書としての役割があり、教会の壁画や天井画のフレスコ画（フレスコ画とは乾く前の漆喰に水で溶いた顔料を塗って絵を描く手法で1日のかける範囲が決まっていますやり直しがききません）が中心です。その後ミロのアトリエを使ったミロ美術館、ミロは独特の抽象的な図柄と色が特徴です。ピカソ美術館は各地にあります、ここでは町の中にあり中世ゴシック様式の邸宅をつないで作られています。世界で最初にピカソ本人協力のもとに出来た美術館との事でピカソの若いころの作品が中心です。次の日はいよいよ聖家族教会、サクラダファミリアです。まずガウディ建築のカサミラ（集合住宅）を見学、1912年完成で、曲線を多用し屋上の煙突のデザインなどまるでアート作品のような住宅でした現代で言えばコスト度外視でしょうか。その後グエル公園も同年代に高級住宅地として設計されましたがほとんど売れず公園として残っています。次のサクラダファミリアは教会建築としては最大級の大きさに140年以上建築が続けられています。自然を手本にした建築で森の中にあるような内部空間、花や葉、動物や昆虫の彫刻、など自然界の形が建物に取り込まれています。日本の外尾悦郎さんも彫刻家として長く参加されています。外装にはイエスの生涯が3つの面にストーリーとして彫刻されています。

最近、サクラダファミリアにローマ教皇レオ14世がこれ、ガウディ没後100年を記念しイエスの塔の完成と祝福、平和メッセージを世界に発信されました。

この日の夜はバルセロナの町でフラメンコのショーを見ましたが撮影禁止でしたので画像はありません。杖と拍手のリズムで盛り上がり素晴らしかったです。

次の日は空路ビルバオと言う北の町へ向かいました。目的は1997年に開館したグッゲンハイム美術館ですその前に町が見渡せる丘で町並みや公園から日本の建築家、磯崎新さんデザインのツインビルを見ました。町のシンボルとして有名だそうです。この美術館は建築家フランクゲーリーが手掛けたものでチタンの板でできた花びらのような外観が特徴です。中は巨大な吹き抜けがあり、現代アート美術の殿堂と呼ばれています。昼食はバスク料理のピンチョスをいただきました。

バスク料理の特徴は素材の良さを生かした、シンプルで洗練された料理との事です。

翌日はマドリッドに飛び国立ソフィア王妃美術館、（現代美術とピカソのゲルニカがあります）プラド美術館は世界3大美術館の1つと呼ばれゴヤ、エル・グレコ、ベラスケスの傑作があります。最後にスペインゴシック建築の最高峰トレド大聖堂です。1226年から250年かけて完成したものです。金銀細工の聖体顕示台やステンドグラス、天井画、エル・グレコの作品も展示されています。

以上スペイン美術旅行でしたが印象的でしたのは町並みが奇麗な事と公園が広いのが印象的でした。食事でも美味しかったのですが、何分おなかを壊してしまっていて楽しめませんでした。スペインでは昼食は2時から4時頃まででシエスタ（昼寝）を取り、夕食は9時から10時でゆっくり、スポーツ好きお祭り好きで到着時にはバイクの仲間のパレードが行われていました。いろいろな工事もいつ終わるかわからないスタイルですべてに人生をゆっくり楽しもうという気質の様でした。

## 4. 閉会・点鐘